

駒村社長 in オランダ

今回のフォトキナ前、駒村社長はかねてからの友人である、カレル・ヴァン・ウォルフアレン (Karel van Wolferen) 氏に会うためにオランダ、アムステルダムを訪れました。美しい運河の街、アムステルダムの魅力をご紹介します！

ウォルフアレン氏は 1987 年にフィリピンの「民衆革命」の報道により、オランダのジャーナリズム最高賞「オランダ賞」を受賞するなど、世界的にも著明なジャーナリストです。さらに 1989 年に著書「The Enigma of Japanese Power」(邦訳「日本 / 権力構造の謎」) を出版、10 カ国語以上で翻訳される大ヒットとなりました。かつては日本でも大学講師を勤めたこともあり、現在はアムステルダム大学で教授を勤めます。また、大判写真を趣味とし、HORSEMAN L45、第一号ユーザーで、日本では 2007 年にこのメルマガでもご紹介した「デジタルファインアート展」では素晴らしい作品の数々を発表しています。



早速ウォルフアレン氏と街を散策に出発～！



ウォルフアレン氏の奥様エトナさんは、なんと日本の上智大学卒業の才女！英語、オランダ語、そして江戸弁、茨城弁もペラペラ～！



こんな中心街で自転車？実はオランダは自転車交通が発達し、専用道路や駐輪場、レンタルサイクルも完備された自転車王国だとか！おかげで都会でありながら空気がとってもクリーン！



あいにくな天気ではありますが…。



折角だから船で移動！と思ったらなんとロマンチックな船の名前！



流れる運河から眺める景色もステキです！



運河にかかるレンガ作りの橋がなんとも叙情的！



やってきたのは郊外にあるウォルフアレン氏の自宅周辺。牧歌的な風景が広がりますね。



本当にうっとりするような景色…。思わず深呼吸したくなるような～。



!!?
ウォルフアレン氏の自宅裏はなんと広大な牧場！



のどか～。



「だあれ…？」と聞いてそうな彼(彼女?)は駒村社長の後をトコトコ着いて来ちゃうのだそうです～。カワイイ～!!!



「帰っちゃうの？」そんな悲しい目で見ないで～。連れて帰りたくないっちゃう～



最後に笑顔がチャーミングな奥様、エトナさんをパチリ！